



いと思うのだが、やむを得ずそうなってしまいう生徒たちも少なからず存在しているはずだ。そういうときに、選択肢が一つ増えることは非常に嬉しい限りだし、そこでやり直しが利くのなら、ある程度腹をくくらなければいけない。だから、愛媛県がなお良いのだ。確かに、失敗したって何度だってやり直せばいいという部分はある。でも、そこにリスクがないようではダメだと思う。そのリスクを負うから、やり直しが出来ると考えてほしいの。高校を選択する際に、本当に自分のやりたいことを考えて進学した生徒は、あまりそういうことにはならないと思う。それは、その高校についてかなり吟味してから、志望校として選択したと思うからだ。「何となく」で高校を決め、合格してからその高校の姿が見えてきて、「なんか違う」と感じる人が多いのだと思う。だからこそ、転学をするときには、その自分を反省して、

彼の地で自分を見つめ直すという選択肢が良いのだ。

合格発表の
悲喜こもこも

今でも合格発表の日というのは、ドキドキ感しかないのだが、アルバイトとして働き始めた頃には、そこまでの思いはなかった気がする。ただ、生徒たちの合否の知らせに一喜一憂するという感じだった。それは、日々の授業が楽しくて、進路指導は塾の上層部に任せてしまっていたからだだったかもしれない。実際、生徒一人一人の成績と、その生徒がどうすれば合格できる点数を取れるのか？というようなことは、学生アルバイトとしてあまり考えたことがなかった。ある意味、他人事のようには思っていたのかもしれない。そういう中でも、個人的に非常に申し訳なく思っている生徒がいる。都立高校を第一志望としてこの

「イカス」に通ってくれていた女の子で、とても一生懸命努力をしていた子だった。私立の押さえは取れていたの
で、後は第一志望に受かるだけ、という感じだったのだが、残念ながら第一志望の都立には受からなかった。今から思うと、経験値も
なくただ一生懸命教えていただけといつても過言ではない自分が、
もっとその子のことを思つて踏み込んだ指導を出来ていたら、
ひよつとしたら、ということもあったように思う。でも、一番悔やま
れるのは、都立入試の結果が分かった後も、こんな塾に通つてきて
くれていたのに、ちつともいいことを伝えられていなかったことな
のだ。

アルバイトなりに、もっと生徒のことを考
えて指導をしなければいけないと感じ始めたのは、その子がいたか
らだと今でも思つてい
る。

生徒の 珍発言!?

先生A「ザツシの「シ」という字を間違えたヤツがいる」
生徒「でも、『こんにんべん』を付け忘れただけです」
先生A「こんにんべんの？にんべんの？泣」



秋吉 赤羽店

〒115-0045 東京都北区赤羽1-19-11 ヴェルディ赤羽101

TEL. **03-3902-8018**



オススメは
「純けい」！
しっかりとした
鳥の旨味が堪えません！

秋吉 中野店

〒164-0001 東京都中野区中野5-54-3 藤田ビル1F

TEL. **03-3385-0071**

＼ご予約お待ちしております！／